

第4回 地域元気ミーティング ～藍地区開催結果概要～

1. 日時 平成28年2月24日（水）午後7時から午後9時
2. 場所 藍市民センター（視聴覚室）
3. 出席 地域10名（地域推薦5名、一般公募5名）市5名（市長、理事、まちづくり部長等）
4. 概要

【参加者の主な意見】	【意見交換】
①まちづくり協議会の組織について ・まちづくり協議会とはこういうものですよというものが語られないまま、先行しているのではないかと。一体、どういうものかということが見えてこない。	・地域課題を解決する為、様々な団体が連携して、課題を共有し、補完しながら、取り組みを進めることが大事。地域の実情に合った取り組みをするには、まち協といったものが地域活性化する組織の1つと考えています。
②つつじの内科医不在について ・この街に、医者がないというのは、本当に切実な問題でよろしくお願ひします。	・内科医の親族がコンサル会社を通じ開業医を募集されている。現在、引き合いはあるが賃貸なので金額的に折り合いがつかない状況だと聞いております。この件については、市も関わることは難しいので、その経過を見させていただきたい。
③JR新三田以北の利便性の向上について ・新三田から1時間で2本ですので、増便して欲しい	・JRであり新三田駅以北は福知山管轄になる。JRにはいろんな形で要望しているがJRにとってもプラスである事が最良と思う。市がお金を出すことは他の市民の理解得られない。観光を含めうまく組みながらやっていくような事も考えたい。
④キッズコーナーの設置について ・藍市民センター内にキッズのコーナーを設置して欲しい。	・不十分かもしれないが、対応したい。また、子ども連れがいるような所を利用する際、ちょっとした時間をどのようにするのかということを考えてみたい。
⑤「初日の出」の事業について ・虚空蔵山の初日の出は地域で楽しい行事。地域の人々がこぞって行けるような気楽に寄れる場所が望まれる。・以前、虚空山の初日の出の補助事業は市が盛り上げ、結局大変であるとして消えてしまった。	・やめた理由については不明ですが派手でなくても、初日の出を見るときという様な行事について、市として応援するようなことを考えていきたい。三田で初日の出の行事はふるさと意識の醸成にも良い事である。
⑥医師の確保について ・子どもの医療について、土曜の午後に病気になったら困っている。土曜の午後は、病院を探し回っても、三田市にはない。	・全体的に医師不足で、適切に点在していない事にある。また、医師の方も選ばれる。三田市も医師を確保に非常に困難で、いろんな所に依頼している。地域医療の中で、市民病院だけでは困難。開業医や近隣医療機関との連携で対応している。
⑦血池湿原の保全について ・貴重な資源を持ち去るような事態もなりかねないので、留意して欲しい。	・できるだけ早く天然記念物に指定して、担当課で荒らされない状態で守るための体制をとる準備できている。
⑧土砂災害警戒区域内の藍小学校について ・土砂災害警戒区域のある地域ですが避難所の藍市民センター行くのも困難で、藍小学校を避難場所として欲しい。	・藍小学校の避難所指定については、整理が必要と思います。
⑨出先機関の設置について ・独居や高齢者世帯も多く、藍市民センターは遠方なので、土地も提供するので出先機関を藍本地区に設置して欲しい。	・出先機関の設置の要望ですがこれを難しい。取り合えず、証明書類の交付は、これからはマイナンバーを活用したコンビニを活用する方向である。また、研究が必要だが郵便局も活用できないかと思う。
⑩子育ての支援について ・子育てで、自分の悩みを話せ、息抜きができる場所があればと思う。 ・児童虐待防止等の取組みの中で、やはり子育てはしんどいという声がある。そういう方々を寄り添えるような活動がもう少し地域の中でできたらと思います。 ・小・中・高校生の子ども達が地域で発言できる機会が必要である。	・子どもの問題では、法律も改正され、児童虐待の際、以前より早く強制力でできるようになった。しかしながら、県子ども家庭センターの職員が疲弊しているのが現実で、全国的な問題。転入されて知らない土地での子育てについて、市としても非常に気になっている。そういう意味では地域の方々に助け合いながらやっていかないと。市としても川西子ども家庭センターと更に連携して、今回は赤ちゃんサポートセンターを設置し、体制を整えたい。
⑪すべての人が生きがいを感じられるまちづくりについて ・子育て世代がなかなか地域に残らない。地域に魅力がないのかわからないけど、出ていってしまう。このことは、私達の地域の問題でもあるが、市も一緒に考えて欲しい。 ・高齢者が多い地域になってきて、地域の公園に運動できる遊具が欲しい。 ・駒ヶ谷体育館で体操教室が開催されているが、もっと、参加できるようにして欲しい。	・急速に高齢世代が増加し、そういった方々が地域で頑張れる場、居場所づくりが必要である。体だけでなく、心も生き生きと元気に年をとる。そのためには、健康遊具の設置や健康教室の充実を市の中で議論し、今後考えたい。同年代だけじゃなく、いろんな世代が気楽に寄って集い、意見交換をする場が必要。